

防災学習事例 ～何気ない普段の授業に防災を取り入れよう～

【高等部 1 年】

日時	8月 29 日 (土) 2・3 時間目
教科・単元名	生単・『防災グッズを体験してみよう』
学習のねらい	・災害時に使用する可能性のあるグッズを体験して、快や不快を感じたり使用に慣れたりすることができる。
学習内容	○ガスボンベ式の発電機の音を体験してみる。 ・ケアルーム外で発電機の試運転を行う。(定期動作確認も兼ねる) ○防災グッズを体験する。 ・水のいらないシャンプー、ボディ用シート、歯磨きシート ・簡易トイレ ・ヒートパック ・防災食
防災ワード	・避難 ・停電 ・断水
児童生徒の様子	○保護者と共に教師が発電機を始動した時点では、室内の生徒は落ち着いた様子だった。その後、運転モードに切り替えるとエンジン音がけたたましくなり、生徒は不快の表情を示した。 ○ボディシート、シャンプーやその後のふき取りでは笑顔で快の気持ちを伝えることができた。乾いた後は、シャンプーをした箇所が他よりサラサラしていることを保護者と確認していた。 ○簡易トイレ体験では、実際にセッティングや座ってみる体験をし、凝固剤で固まった水に触れて「魔法みたいね」と話した。 ○ヒートパックでスープを温め、缶詰のパンを試食した。種類によって食が進むものとそうでないものがある様子が見られた。
写真	   